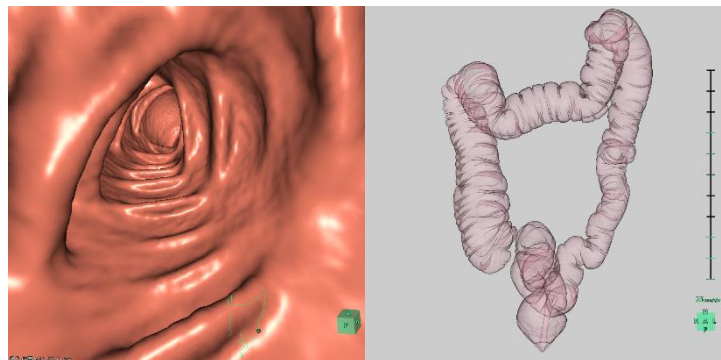


大腸の検査を受けていただくことが、大腸がん予防の第一歩です！

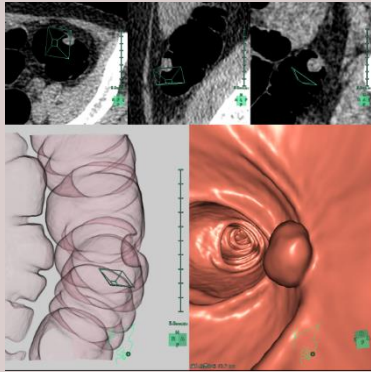
CTコロノグラフィー検査

CTコロノグラフィー検査とは



CTコロノグラフィー検査は、大腸X線検査や大腸内視鏡検査と同様に前処置を行った後、お尻から炭酸ガスを注入し大腸を拡張させCT撮影を行います。そして、画像処理後に大腸の3次元画像を作り出し評価します。検査時間は前処置の時間を除けば、15分程度で終わります。CTコロノグラフィー検査は、体内への吸収が速い炭酸ガスを注入しますので、空気を注入する大腸X線検査と比べて検査後のおなかの張りによる不快感が速やかに解消されます。

CTコロノグラフィー検査のながれ

検査前処置	検査		後日診断
Step 1  大腸内を検査しやすくするため、検査食や下剤などを用いて大腸内をきれいにします。	Step 2  肛門から細いチューブを挿入し、大腸へ炭酸ガスを注入します。 ※炭酸ガスは空気に比べて速やかに吸収されるため、検査後の不快感が軽減されます。	Step 3  仰向け、うつ伏せの状態それぞれ撮影します。1回の撮影時間は10秒程度です。	Step 4  撮影した大腸のさまざまな3次元画像で評価し、診断を行います。

CTコロノグラフィー検査の利点と欠点

利点	欠点
・内視鏡や大腸X線検査と比べて苦痛が少ない ・検査時間が短い ・周辺臓器も同時に観察可能である ・偶発症が極めてまれである	・小さな病変や平坦な病変の診断能は内視鏡検査に劣る ・病変が見つかった場合には内視鏡が必要である ・下剤等の前処置は必要である

CTコロノグラフィー検査が保険適応になる方

- ・医師の判断のもと、他の検査（便潜血陽性、腫瘍マーカー上昇など）で大腸悪性腫瘍が疑われる患者さま

【参考】CTコロノグラフィー検査費用・保険適応（3割）の場合
→検査費用等 約8千円 ※費用は内容により異なります。

ご相談・ご質問は内科外来までお気軽にお問い合わせください。

TEL (0859) 29-1100 (代)